担当する患者がすぐに代わ お手伝いをしたい」と話す。 さんが納得する結論を出す 立した中立の立場で、患者 ス」を設立。「病院から独 年、株式会社「楽患ナーとして活動している。昨 患者らと面談し、セカンド らの会合で「『人質』に取 オピニオン診察に付き添う をすると悪く思われる」と られているようで病院には ことに疑問を感じた。患者 「医療コーディネーター」 ソ、接する時間も限られる 病院の看護師だった時に 看護師の経験を生かして

岩岩 付き添う事業を 病院の診察に続ける医療コ さん ゆり

言われ、ショックを受けた。

の不安などさまざまだ。転

在は、臨床経験五年以上の の不信感や治療打ち切りへ を担当した。 看護師二十三人を認定コー て個人開業。会社化した現 者。相談内容は、主治医へ これまでに延べ二百五十件 ノィネーターとして抱え、 二〇〇三年に病院を辞め 相談者の七割はがん患 医師の意見も仰いで助言し 院先の相談も多く、専門性 ている。 や利便性、相性を考慮し、 自宅に、夫で代表の費さん (三世)と事務所を置く。 三十 "かかりつけ看護師" にな れば」。東京都足立区の 患者さんとその家族の (安藤恭子)

この人

かかりつけ看護師になれれば